2026年9月作成
（2026年6月末基準）

対象ファンド
【外国債券等】

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

プロダクトガバナンスレポート

公募ファンドの運用について

ごあいさつ ····· 2

会社体制(会社情報・各種ガバナンス体制)

経営ビジョン／プロダクトガバナンス・ポリシー ····· 3
コーポレートガバナンス体制 ····· 4
純資産総額／会社収益 ····· 5
運用哲学／運用体制 ····· 6
開示・情報提供に関する取り組み ····· 7
バリューマネジメント活動 ····· 8
ファンド提供価値の評価・改善対応フロー ····· 9

カテゴリごとのファンド運用状況

当レポートでご報告するファンドについて ····· 10
要改善ファンドへの特定を解除したファンド ····· 11
01　外国債券・世界型 ····· 13
02　外国債券・世界型(円ヘッジ) ····· 14
03　外国債券・世界型(除く日本) ····· 15
04　外国債券・世界型(除く日本、円ヘッジ) ····· 17
05　外国債券・米国型 ····· 18
06　外国債券・米国型(円ヘッジ) ····· 19
07　外国債券・欧州型 ····· 20
08　外国債券・オセアニア型 ····· 21
09　外国債券・単一国/地域 ····· 22
10　外国債券・ハイイールド型・グローバル ····· 23
11　外国債券・ハイイールド型・グローバル(円ヘッジ) ····· 24
12　外国債券・ハイイールド型・欧州 ····· 25
13　外国債券・ハイイールド型・欧州(円ヘッジ) ····· 26
14　外国債券・バンクローン型 ····· 27
15　外国債券・バンクローン型(円ヘッジ) ····· 28
16　外国債券・新興国型・グローバル ····· 29
17　外国債券・新興国型・グローバル(現地通貨建て) ····· 30
18　外国債券・新興国型・グローバル(円ヘッジ) ····· 31
19　外国債券・新興国型・アジア ····· 32
20　外国債券・短期型 ····· 33
21　外国債券・転換社債型 ····· 34
22　外国債券・転換社債型(円ヘッジ) ····· 35
23　債券・その他 ····· 36

ごあいさつ

取締役社長　川上 豊

当社は、三菱UFJフィナンシャル・グループ（MUFG）の資産運用ビジネスにおける中核を担う総合運用会社として、多くのお客さまから大切な資産をお預かりしています。
日頃よりお寄せいただいているご信頼に、心より感謝申し上げます。

「資産運用立国」への取組み加速や「プライベートアセット」の拡大、「金利ある世界」への転換など、資産運用業を取り巻く環境は、大きく、そして急速に変化しております。こうした時代において資産運用会社には、運用成果の追求にとどまらず、投資を通じて社会の持続的な発展に貢献することが、これまで以上に求められるとともに、その責任の重さを強く感じています。

当社の経営ビジョンである“『あなた』と『社会』の豊かな未来に貢献する”には、お客さまの資産形成・資産運用への貢献と、持続可能な社会の実現に貢献したいという想いを込めています。その実現に向けて、私たちは、フィデューシャリー・デューティーを当社役職員に求められる思考様式・行動様式の中核に据え、不断の探求と実践を重ねています。

フィデューシャリー・デューティー推進委員会による継続的なモニタリングや議論に加え、社外取締役主体のフィデューシャリー・デューティー／プロダクトガバナンス諮問会議を通じて、フィデューシャリー・デューティーおよびプロダクトガバナンスの実効性を高め、お客さま本位の業務運営をより一層深化させています。

当レポートは、当社のプロダクトガバナンスに関する態勢および各種取り組みのご説明に加え、当社が設定・運用する公募ファンドについて、個別ファンドごとに実施した品質管理の結果ならびに、運用や商品性に改善を要すると判断したファンドに関する改善に向けた取り組み状況をご報告するものです。

今後も、これまでお寄せいただいた信頼に真摯に向き合いながら、お客さまの期待を上回る運用サービスの提供と、社会への貢献が好循環する資産運用の実現をめざしてまいります。
引き続き、三菱UFJアセットマネジメントをご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

経営ビジョン／プロダクトガバナンス・ポリシー

当社が投資信託を通じ、お客さまの大切なご資金をお預かりするという役割の重要性と、社会に果たすべき責任を踏まえ、当社の“社会における存在意義”を定義した「経営ビジョン」を定めています。経営ビジョンを企業活動の拠り所としながら、特に投資信託をご活用いただくお客さまの目線に立った商品・サービスの提供・品質向上に向けて重視する事項を「プロダクトガバナンス*・ポリシー」として定め、お客さま本位の業務運営に取り組んでいます。

＊「プロダクトガバナンス」とは、お客さまへ良質な商品（プロダクト）・サービスを提供するために、商品の組成・運用において適切な運営・モニタリング・品質管理を行うことを指します。

経営ビジョン

社会においてこうありたいという第三者的な視点に立ち、資産運用を社会インフラのひとつとして根付かせ、資産運用の拡大と共に成長していくとの想いを経営ビジョンとして策定しています。

「あなた」と「社会」の豊かな未来に貢献する

わたしたちは、資産運用を通じて「あなた」と「社会」をつなぎ、
より良い未来に貢献します。

三菱ＵＦＪアセットマネジメントは、プロフェッショナルとして、お客さまの大切なご資金を運用する資産運用会社です。わたしたちの「経営ビジョン」には、お客さまの資産形成・資産運用に貢献したい、持続可能な社会の実現に貢献したい、という想いが込められています。

プロダクトガバナンス・ポリシー

プロダクトガバナンスにおいて、お客さまの目線を重視する考え方のもと、大切にしていること、重視していることを「商品性」「運用管理」「開示」の3つの側面からポリシーとして制定し、更なる品質向上に取り組んでいます。

商品性

現在および将来、当社の投資信託を保有いただくお客さまのニーズに沿った最適な商品の組成・提供を目指します

- 提供価値（ファンドの目的・特色）の明確化

運用管理

お客さまにご負担いただくコストに見合うリターンを確保できているかモニタリングすることにより、投資信託を通じた提供価値の維持を目指します

- 信託報酬（運用管理費用）等控除後の運用成果のモニタリングを徹底
- 運用成果の追求に向けた取組みの徹底
- ファンドの目的・特色が十分提供できていない場合、適時適切に対応

開示

お客さまの投資判断に必要な情報をご理解いただきやすく提供することを目指します

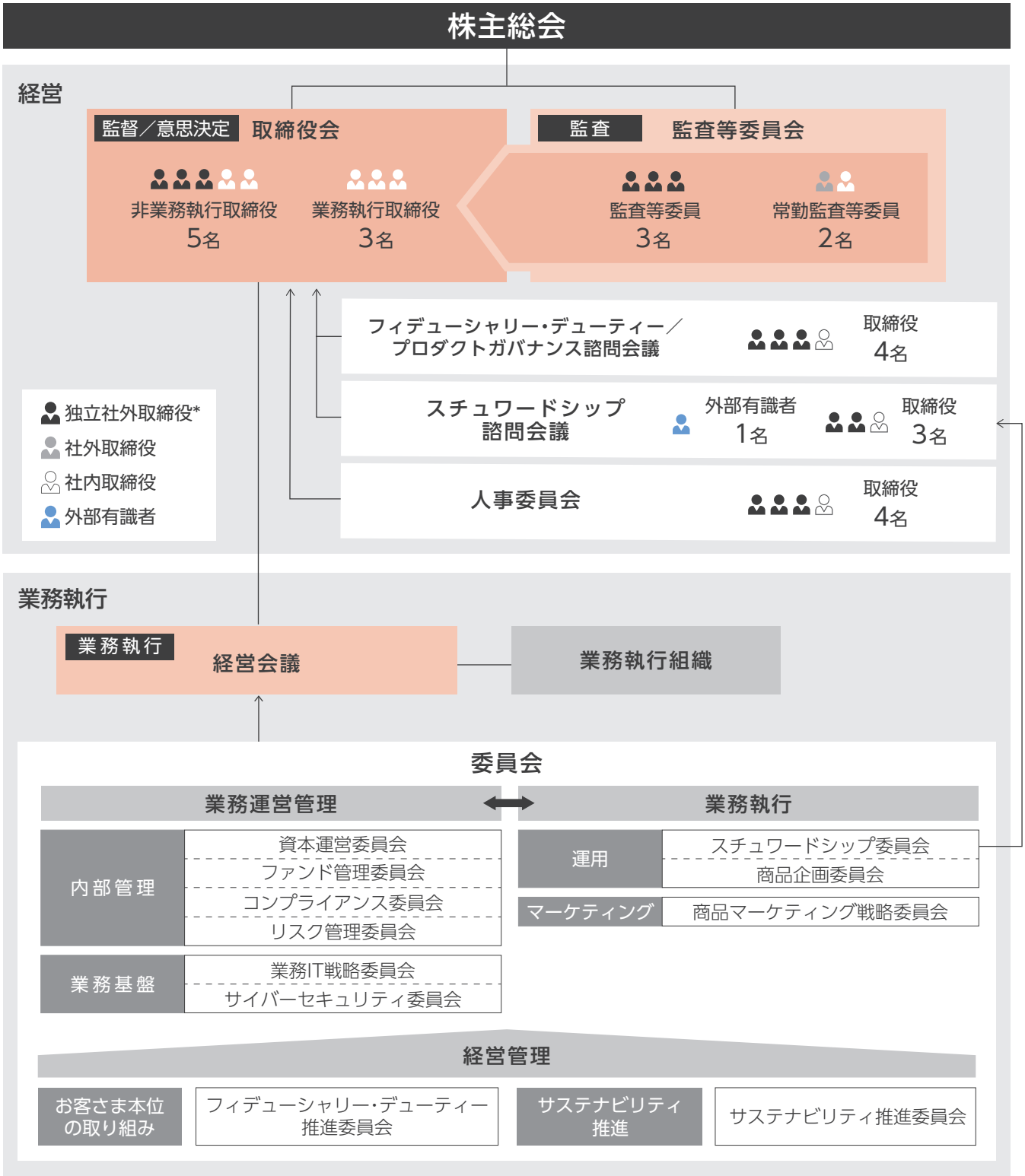
- 正確な情報をわかりやすく提供
- 様々な手段・方法で、タイムリーに情報を提供

コーポレートガバナンス体制

●適切なプロダクトガバナンスには、適切なコーポレートガバナンス体制が必須条件と考えております。当社では経営の監督・意思決定を行う取締役会と、それを監査する監査等委員会のもと、経営会議およびその傘下の各種委員会や組織で業務執行にあたっています。

●また、資産運用会社としての独立性を確保するため、「社外の視点」を重視し、取締役会において社外取締役が業務の執行状況を監督するとともに、社外からの目線の導入が特に必要な取り組みについては社外取締役・外部有識者を構成員とする諮問会議等を設置して監督機能を強化することで、安定的で実効性の高いコーポレートガバナンス体制を構築しています。

2026年6月末 現在

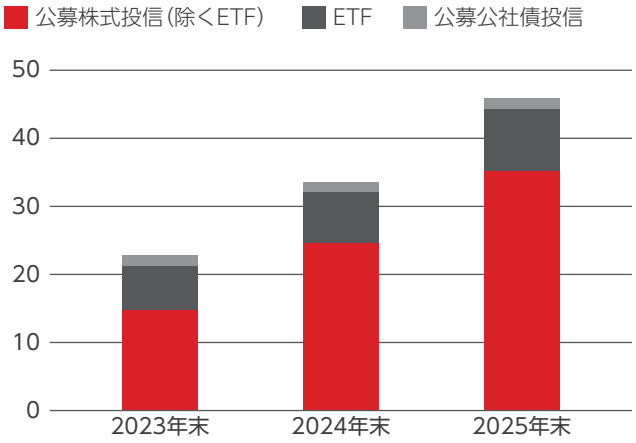


(*) 当社で定める「社外取締役の独立性判断基準」に基づき当社から独立性を有している社外取締役

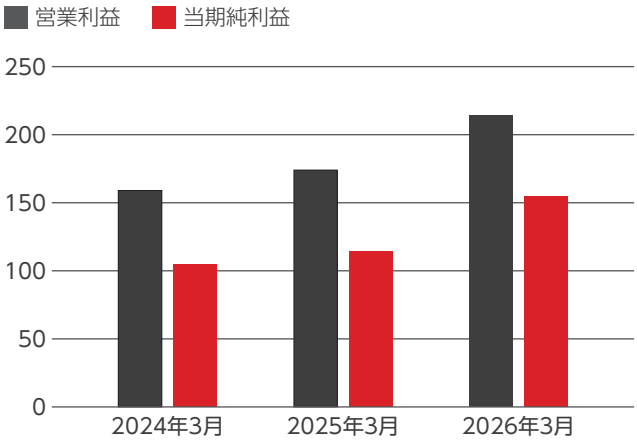
純資産総額／会社収益

ファンド運営の前提となる会社の継続性に関しまして、当社ファンドへのお客さまからのご支持に加えて資産運用の浸透・拡大も受け、2025年末時点の当社公募投資信託純資産総額は46.0兆円となりました。また、収益状況は安定的に推移しております。

当社公募投資信託純資産総額の推移（兆円）



当社収益状況の推移（億円）



TOPICS

●「当社の「お客さま本位の取り組み」」資料の公表について

当社では、金融庁が公表している「顧客本位の業務運営に関する原則」（2024年9月改訂）を採択するとともに、当社としての「お客さま本位の取組方針」を策定し、お客さま本位の業務運営の実践に取り組んでいます。

このたび、当社の取組方針および取組状況を、具体的な指標（KPI）や事例とともにまとめた「当社の「お客さま本位の取り組み」」について、2025年度における取り組みを反映し、2026年6月に更新・公表しました。

本資料では、お客さまの最善の利益の実現に向けた商品・サービスの品質向上や情報提供の充実に向けた取り組みを紹介するとともに、商品の顧客推奨度や運用力に関する外部評価、販売会社との連携強化などについて、各種指標や取組事例とともに公表しています。また、「運用チーム特設サイト」の開設や「投信実績シミュレーション」の提供など、お客さまへの分かりやすい情報発信に向けた新たな取り組みもご紹介しています。詳しくは、以下リンクよりご覧ください。

https://www.am.mufg.jp/assets/pdf/corp/policy/torikumi.pdf

運用哲学／運用体制

当社の運用プロフェッショナルが、付加価値の創造、的確なリスク管理、規律ある運用プロセスなどの運用哲学に基づき、投資いただいているお客さまに最良の投資成果をお届けできるように努めています。運用部門では、お客さまに良質な商品を継続的に提供すべく、組織的かつ各運用者が高いオーナーシップを発揮する運用体制を構築し、サステナブル投資の観点からも社会課題解決に資するスチュワードシップ活動に取り組んでおります。また、運用ニーズの多様化に対応した部署新設により運用のケイパビリティ拡充を図る一方、債券運用において運用プロセスや対象顧客の属性の違いなどから二部体制としていた部署を、運用・市場分析におけるノウハウのさらなる共有・協働を通じた運用力強化および重複業務の効率化による対応力の向上を目指し「債券運用部」に統合（2026年4月1日付）しました。
お客さまにご満足いただける投資成果を安定的かつ継続的に提供することを目指しています。

運用哲学

01 付加価値の創造

最良の運用成果を得るためには、徹底した調査・分析と適切な運用判断による付加価値の創造が必要です。私たちは、徹底した情報収集、詳細な分析、適切な判断を通じて付加価値の獲得を目指します。

02 的確なリスク管理

運用においては、意図したリスクを取り、意図しないリスクを排除することが必要です。私たちは、的確なリスク管理を実践し、効率的に付加価値の獲得を目指します。

03 規律ある運用プロセス

規律と一貫性のあるプロセスが、運用の質的向上につながります。私たちは、チームワークを重視し、かつ「Plan→Do→See」に裏打ちされた規律あるプロセスによって、運用の一貫性を確保します。

04 適切な情報開示

お客さまに信頼していただきながら、ご期待に沿った資産運用を行うためには、情報の開示が不可欠です。私たちは、運用の状況と運用に対する考え方を適切にお伝えすることにより、お客さまの信頼獲得を目指します。

運用体制

（2026年6月末現在）

運用部門
部門長　高鍋 朗　運用経験年数　32年　副部門長　大久保 隆　運用経験年数　8年

	運用部	運用責任者（運用経験年数）	運用対象	FM人員（運用経験年数）	担当運用資産（十億円）
運用担当	戦略運用部	菊地 和浩（31年）	主としてバランス型ファンド・計量的手法等を利用したファンドの運用	18名（平均13年）	572
	株式運用部	森 博（29年）	主として内外株式の運用	45名（平均17年）	1,808
	債券運用部	古田 憲司（28年）	主として内外債券の運用	34名（平均16年）	3,180
	クレジット運用部	永田 幸佐（18年）	主としてクレジット関連商品の運用	8名（平均6年）	5,600
	インデックス運用部	荻野 太陽（18年）	主として全資産のインデックス運用	26名（平均8年）	52,972
	外部委託運用部	加納 良樹（29年）	主として外部運用会社との提携ファンドの運用	41名（平均11年）	8,132

※国内籍の公募および私募投信、投資一任・投資助言を対象に集計。助言は投資助言の内容・範囲等にかかわらず、顧客資産の額（契約簿価）を前提とした契約を集計。
プライベートアセット運用部は現状自社資金による運用のみであり上記対象からは割愛。

運用企画部	運用に関する施策企画、運用モニタリングおよびファンドマネジャーのパフォーマンス評価
サステナブル投資推進部	サステナブル投資に関する業務および施策企画
プライベートアセット運用部	主としてプライベートアセットの運用・企画・調査
トレーディング部	有価証券等の発注およびファンド余資運用
商品開発部	商品開発に関する企画立案、投資信託等に関わる商品開発および分配金・償還・品質維持・品質改善管理、商品関連契約

開示・情報提供に関する取り組み

プロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、お客さまの投資判断に必要な情報をご理解いただきやすく提供することを目指して、各種開示・情報提供に取り組んでおります。個別ファンドの運用状況に関する定期的・日常的な情報提供について、適時・適切な実施に努めているほか、開示・情報提供に関する、全社的あるいはファンドを横断した高度化・拡充についても取り組みを進めております。当ページではそれらの取り組みの一例をご紹介いたします。

取り組み事例　運用チーム特設サイトの開設

●当社ではこれまで、ホームページ内の個別ファンドページでの運用担当部や運用主担当・責任者名に関する開示や、運用体制ページによる各運用部および運用チームに関する開示を行ってまいりました。
●このたび2026年4月、ホームページ内に新たに「運用チーム特設サイト」を開設いたしました。
●本サイトでは、当社運用部に所属する７つの運用チームと代表ファンドについて、各チームの運用哲学や運用プロセス、意思決定の考え方をご紹介するとともに、総勢25名のファンドマネジャーへのインタビュー（2026年1月末時点）等を掲載しています。
●既に当社投資信託を保有されている方はもちろん、これから購入をご検討される方にとっても、当社運用チームやファンドマネジャーへの理解をより一層深めていただけるコンテンツとなっております。
●今後もお客さまにとって有益な情報発信の拡充を図ってまいります。

サイトイメージ（運用チームページ）

取り組み事例　投資信託の研究開発過程を公開するプロジェクトの開始

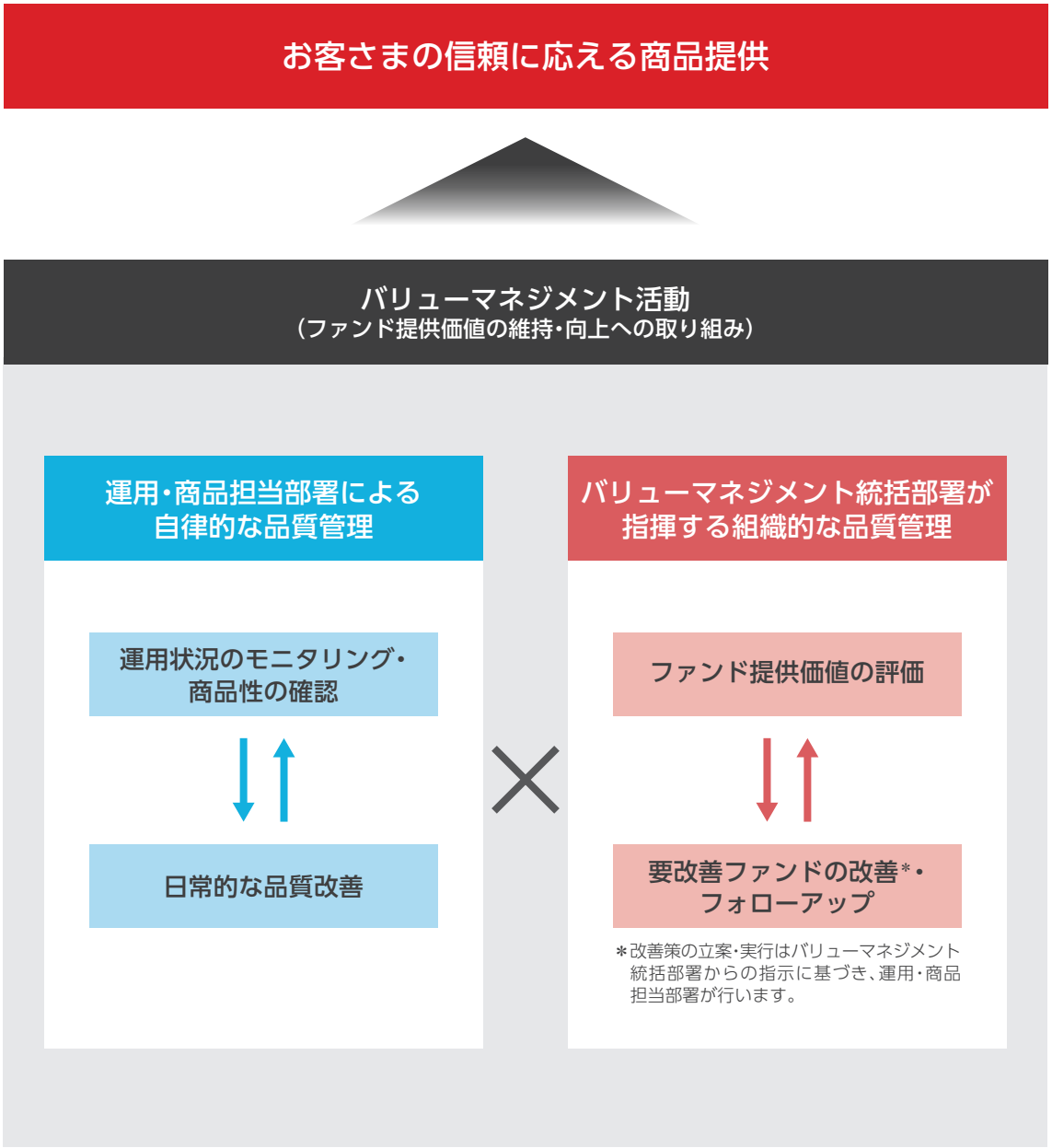
●当社は、中長期的な運用力・商品開発力の強化および投資家のみなさまに投資信託に関する理解をさらに深めていただくことを目的として、特定の運用手法に関する研究・開発（R&D）の過程を公開する業界初※1のプロジェクト「ファンド研究所」（以下、本プロジェクト）を開始しました。
●本プロジェクトは、自社の運用力を高め、投資家のみなさまに当社の運用について知っていただくために、日々取り組んでいる運用エンジンの研究・開発（R&D）やチャレンジを研究コンテンツとして公開する取り組みです。「mattoco+」※2を通じて、研究開発中の運用手法や運用方針を公開するとともに、口座保有者との対話を通じて、当社が運用や商品性の検証を進めていきます。
●新しい運用アイデアは、どのような発想から生まれ、どのようなプロセスで検証され、どんな結果にたどり着いているのか。本プロジェクトでは、そうした試行錯誤の軌跡を、完成形ではなく研究の途中段階としてご紹介しています。
●本プロジェクトでご覧いただける内容は、あくまで研究・開発の一環としての情報提供であり、運用の可能性や考え方に触れていただくことを目的としたものです。また、複数の研究開発テーマを対象に、段階的に情報発信やセミナー、コンテンツの提供等を行う予定です。
●より一層、運用力・商品開発力を磨き、お客さまの資産形成・資産運用に貢献してまいります。

※1　三菱UFJアセットマネジメント調べ　※2　「mattoco+」は三菱UFJアセットマネジメント株式会社と株式会社スマートプラスが共同で運営する、個人のお客さま向けの投資信託取引サービスです。詳しくはhttps://app.mattoco-plus.jp/をご覧ください。

※ファンド研究所や研究・開発している戦略のリスク・費用等について、こちらの「本ページに関する留意事項（研究開発目的の情報提供について）」をご確認ください。

バリューマネジメント活動

プロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、ファンド提供価値の維持・向上へ継続的に取り組んでいます（バリューマネジメント活動）。運用・商品担当部署においてはファンドの各種運営とともに、ファンドの品質管理・改善を自律的に行っております。それに加え、バリューマネジメント統括部署においてファンド提供価値の評価を行い、必要に応じて運用あるいは商品性の改善を促すなど、お客さまの信頼に応える商品提供を心掛けております。



ファンド提供価値の評価・改善対応フロー

当社が設定・運用する公募ファンド（MRF、単位型を除く）を対象に、ファンド提供価値の評価を行います。その結果、運用や商品性に改善を要すると考えられるファンド（要改善ファンド）については改善策を策定します。ファンド提供価値の評価・改善対応は以下のフローに基づいて行っており、当レポートでは、評価結果および改善対応の状況についてご報告いたします。

STEP 01

パフォーマンス評価

●当社が設定・運用する公募ファンド（MRF、単位型を除く）について、コスト控除後のリターン*1を用いて、当社ファンドと同じカテゴリ*2に所属する競合他社ファンドのなかでの相対的な順位を確認します。

●競合他社ファンドとの比較は5年、10年、設定来などの複数期間*3で行います。

＊1 お客さまにご負担いただくコストに見合うリターンを確保できているか確認するため、分配金再投資換算の基準価額を使って信託報酬（運用管理費用）等控除後のリターンを算出します。

＊2 恣意性を排除するため、外部評価機関であるMorningstarによるモーニングスター・カテゴリを使用します。モーニングスター・カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

＊3 インデックスファンドについては、特定指数と同じ値動きを目指す商品性であること等から、対象指数との期間1年の連動性も含めて評価します。

STEP 02

ファンド提供価値の評価

●STEP1のパフォーマンス評価において、パフォーマンスの相対順位が一定水準以下となる競合他社比で劣後しているファンドについて、多角的な視点からより詳細な分析を行います。

●パフォーマンスの要因やコスト対比リターン、商品性などの分析を行い、お客さまにご負担いただいたコストに見合うリターンが提供できているか、商品性に合致した運用が継続可能かなどの観点からファンド提供価値を評価します。

STEP 03

要改善ファンドの特定・改善策の検討

●STEP2の分析により、運用や商品性に改善すべき課題が特定された場合には、ファンド提供価値の向上を目的として、当該課題を解決すべく改善策を検討します。

STEP 04

要改善ファンドのフォローアップ

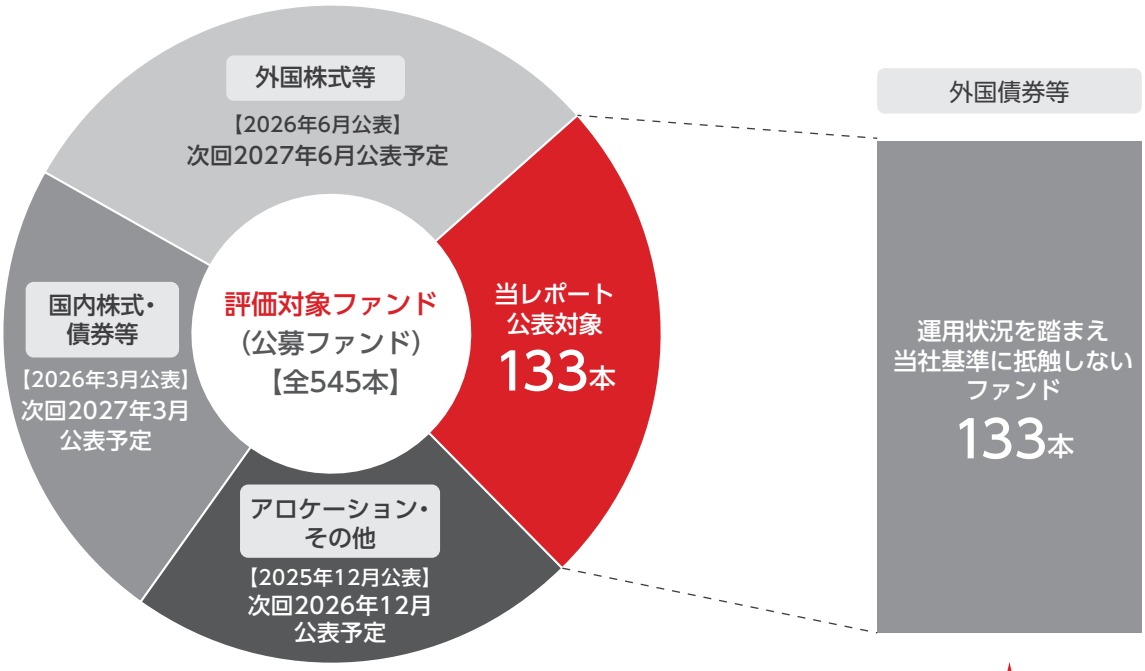
●STEP3で策定した改善策が効果を発揮し改善が図られているかモニタリングを行い、お客さまに十分な価値提供ができているか確認できるまでフォローアップを継続します。

●改善策やその後の進捗状況については、当レポートでお客さまに開示します。

当レポートでご報告するファンドについて

当レポートでは評価対象ファンドを「国内株式・債券等」、「外国株式等」、「外国債券等」、「アロケーション・その他」の4つに分類し、各分類ごとに順次公表いたします。今回は「外国債券等」に分類する133本のファンドを対象とし、評価した結果、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
なお、「外国債券等」で開示済みの要改善ファンドのうち、要改善ファンドへの特定を解除したファンドがございます。当該ファンドの詳細につきましては、次ページ以降をご参照ください。

※「国内株式・債券等」、「外国株式等」、「外国債券等」、「アロケーション・その他」の分類はモーニングスター・カテゴリを基に当社が行います。モーニングスター・カテゴリで外国債券、債券・その他に属するファンドを「外国債券等」に分類しています。
※各ファンドの分析はモーニングスター・カテゴリ内における比較により行います。各ファンドの所属カテゴリや公表予定時期については当社ホームページ内プロダクトガバナンスレポートページ上のエクセルファイルをご確認ください。
※モーニングスター・カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。



要改善ファンド 0本

「外国債券等」に分類する133本のファンドにおいて要改善ファンドは該当なし

要改善ファンドへの特定を解除したファンド 4本

ファンド名	設定日	掲載ページ
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(年1回決算型)	2014/05/27	11
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	2014/05/27	11
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり>(年1回決算型)	2014/05/27	11
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり>(毎月決算型)	2014/05/27	11

※2025年9月定期レポート(外国債券等)にて報告した要改善ファンドのうち、「三菱ＵＦＪ ヘッジ付外国債券オープン」については、2025年11月に繰上償還済みのため、当レポートにおける要改善ファンドには該当しておりません。

●米国バンクローン・オープン＜為替ヘッジなし＞(毎月決算型)

所属カテゴリ	外国債券・バンクローン型	https://www.am.mufg.jp/fund/252053.html

●米国バンクローン・オープン＜為替ヘッジなし＞(年1回決算型)

所属カテゴリ	外国債券・バンクローン型	https://www.am.mufg.jp/fund/252072.html

●米国バンクローン・オープン＜為替ヘッジあり＞(毎月決算型)

所属カテゴリ	外国債券・バンクローン型(円ヘッジ)	https://www.am.mufg.jp/fund/252048.html

●米国バンクローン・オープン＜為替ヘッジあり＞(年1回決算型)

所属カテゴリ	外国債券・バンクローン型(円ヘッジ)	https://www.am.mufg.jp/fund/252067.html

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。当該ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。

※外国債券・バンクローン型/外国債券・バンクローン型(円ヘッジ)カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

サマリー

●当ファンドは、従来相対的に信用力を重視した保守的なポートフォリオ運営を行ってきたことから、景気回復期などにおいてバンクローン相場の上昇に十分追随できない局面がありました。また、一部保有銘柄の格下げなどに伴う価格下落もパフォーマンス悪化要因となっておりました。こうした課題認識を踏まえ、パフォーマンス改善に向けた取り組みを進めてまいりました。

●具体的には、市況見通しや投資機会に応じてB格への投資比率を引き上げるなど、従来以上に機動的なクレジットリスクのコントロールを行ってきました。同時に、業績悪化の兆候や信用力の変化がみられる銘柄を早期に把握する管理体制を整備するなど、リスク管理体制の強化も段階的に進めてまいりました。加えて、格下げが発生した銘柄についても、個別の信用力、将来の事業改善の可能性および債務不履行時の回収可能性を踏まえ、保有継続や売却等を判断する体制を強化しました。

●今般、改善に向けた取り組みの進捗状況を踏まえ、要改善ファンドへの特定を解除することといたしました。なお、引き続き投資成果の向上に向けた取り組みを継続してまいります。

1 ファンドの概要 (市況動向および資金動向等により、下記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。)

●主として円建外国投資信託への投資を通じて、米ドル建ての米国企業向けバンクローン(貸付債権)等に実質的な投資を行います。米国企業が発行する米ドル建てのハイイールド債券等にも投資を行います。

●投資対象とする円建外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。

●投資対象とする円建外国投資信託の運用は、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシー(以下、ウエスタン社)が行います。

●円建外国投資信託等への投資にあたり、ウエスタン社の日本拠点であるウエスタン・アセット・マネジメント株式会社の投資助言を受けます。※2026年10月1日付でウエスタン・アセット・マネジメント株式会社はフランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社と合併する予定です。

●＜為替ヘッジなし＞は、原則として為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。

●＜為替ヘッジあり＞は、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

2 投資成果(運用成績)の悪化要因

●当ファンドは、従来相対的に保守的な銘柄構成となっており、バンクローン市況の下落局面ではパフォーマンスが同カテゴリ対比で良好となりやすい一方、バンクローン市況の上昇局面では劣後する傾向がありました。

●上記の保守的な銘柄構成から、当ファンド設定後、2016年～2017年の景気回復局面や、2020年前半のコロナ禍からの回復局面において、バンクローン相場の上昇に十分追随できませんでした。

●また、2023年の米国の利上げ局面では、ヘルスケアセクターへの銘柄選択において、コロナ禍以降の人件費上昇などを背景に保有銘柄の一部が格下げとなり価格が下落したことなども、パフォーマンス悪化要因となりました。

米国バンクローン・オープン
＜為替ヘッジなし＞(毎月決算型)／＜為替ヘッジなし＞(年1回決算型)
＜為替ヘッジあり＞(毎月決算型)／＜為替ヘッジあり＞(年1回決算型)

3 運用および商品性の改善に向けた取り組み・改善状況

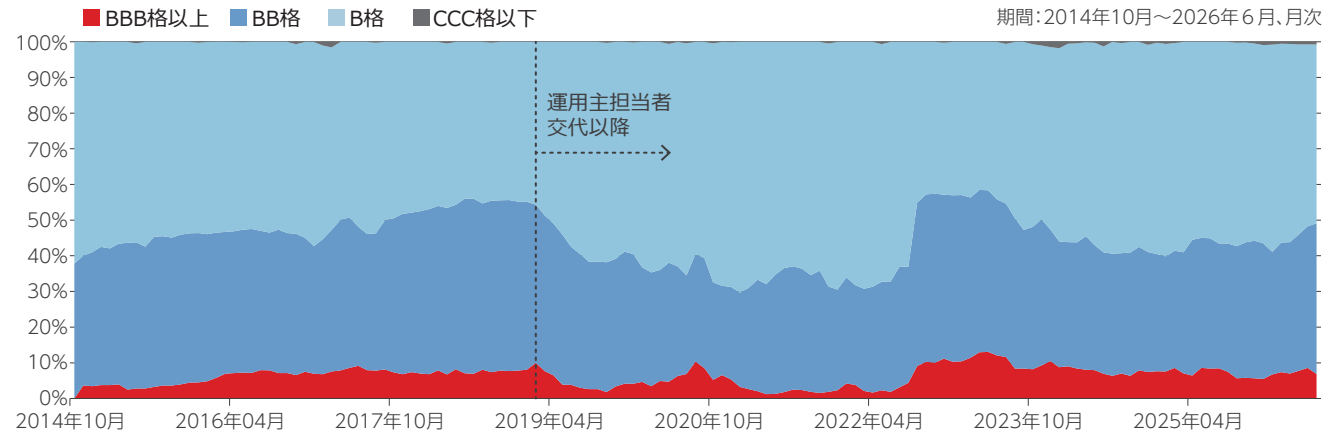
●2019年2月の運用主担当者交代以降、市況環境に応じてBBB格・BB格への投資比率を引き下げ、B格への投資比率を引き上げるなど、従来以上に機動的なクレジットリスクのコントロールを行ってきました。同時に、業績悪化の兆候や信用力の変化がみられる銘柄を早期に把握する管理体制を整備するなど、保有銘柄の財務状況やクレジットリスクに対するモニタリング体制およびリスク管理体制の強化も段階的に進めてまいりました。コロナ禍以降、積極的な銘柄選択がマイナスとなる局面もありましたが、直近1年では銘柄選択が奏功し、パフォーマンスは改善しました。

●また、2025年下期には保有銘柄の格下げ発生時におけるポートフォリオ調整手法の改善を進め、回収価値や事業改善の可能性を踏まえた運用判断を行う体制を強化しました。この結果、直近1年で保有銘柄に格下げが発生した際のパフォーマンス悪化への影響はそれ以前と比べて抑制することができております。

●さらに、2025年下期以降、AIを活用した分析ツールを導入し、銘柄間のみならず格付・業種間の相対的な投資魅力度を比較・分析する枠組みを強化するなど、投資判断およびリスク管理の高度化に取り組んでおります。

●上記の取り組みが徐々に効果を発揮し、過去1年および3年の期間においてカテゴリ平均リターンを上回る投資成果も確認されていることから、改善施策は運用面・リスク管理面の双方において一定の成果を上げていると考えております。

投資先ファンドにおける格付別構成比の推移



出所：ウエスタン・アセット・マネジメント提供データを基に三菱UFJアセットマネジメント作成
※格付は、S&P、Moody's、Fitchのうち最も高い格付を使用しています。※S&Pの格付記号に基づき表示しています。
※上記3社の格付を取得していない場合は、ウエスタン・アセット・マネジメントによる独自の格付を使用しています。※比率は組入債券評価額に対する割合です。

	設定日	純資産総額(億円)	リターン(%)					コスト(%)
			過去1年	過去3年(年率)	過去5年(年率)	過去10年(年率)	設定来(年率)	
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	2014/05/27	97	14.8	9.7	11.9	7.6	6.1	2.04
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(年1回決算型)	2014/05/27	31	14.8	9.7	11.9	7.6	6.1	2.22
外国債券・バンクローン型 カテゴリ平均			14.5	9.4	12.0	8.0	6.7	1.88

	設定日	純資産総額(億円)	リターン(%)					コスト(%)
			過去1年	過去3年(年率)	過去5年(年率)	過去10年(年率)	設定来(年率)	
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり>(毎月決算型)	2014/05/27	15	▲0.9	0.9	▲0.0	0.1	▲0.2	2.05
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり>(年1回決算型)	2014/05/27	11	▲0.9	0.9	▲0.0	0.1	▲0.2	2.21
外国債券・バンクローン型(円ヘッジ) カテゴリ平均			▲0.9	0.8	0.0	0.4	0.2	1.95

出所：Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成
※設定来リターンはファンド設定日の前営業日を起点に計算しております。コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。なお、リターンは税金を考慮しておりません。
※外国債券・バンクローン型/外国債券・バンクローン型(円ヘッジ)カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。
※当社では要改善ファンドを特定するためのファンド提供価値の評価要素の一つとして、当社ファンドと同じカテゴリに所属するファンドとのコスト控除後のリターンについて、相対的な順位を確認しております。カテゴリの平均リターンおよび平均コストは相対的な順位のご参考としてお示ししているもので、当ファンドとカテゴリ内の他ファンドとのパフォーマンスの優劣を示したり、当ファンド売買の推奨もしくは勧誘等を目的とするものではありません。
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

データ基準日：2026年6月末

01 外国債券・世界型

対象ファンド数	当社16ファンド／業界全体78ファンド

カテゴリの運用状況について

●当カテゴリに属する当社ファンド16本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
（個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください）

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン（%）				コスト（%）
過去1年	過去3年（年率）	過去5年（年率）	過去10年（年率）	
14.4	8.1	6.8	5.1	1.29

出所：Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成
※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。
※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く）より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義
特定の通貨等に偏ることなく、世界の投資適格債券を主な投資対象とする。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド
当カテゴリに属する当社ファンドは該当なし

◇アクティブファンド（インデックスファンド以外のファンド）

No.	ファンド名（アルファベット順および五十音順）	設定日	純資産総額（億円）	要改善ファンド	当社HP
1	ＰＩＭＣＯ インカム戦略ファンド＜米ドルインカム＞（年２回分配型）	2014/05/21	125	—	■
2	ＰＩＭＣＯ インカム戦略ファンド＜米ドルインカム＞（毎月分配型）	2014/05/21	436	—	■
3	外国債券アクティブファンドセレクション（ラップ専用）	2019/01/28	18	—	■
4	グローバル・インカム・フルコース（為替ヘッジなし）	2019/03/04	7	—	■
5	グローバル債券・プレミアム・セレクション（ＳＭＡ）	2025/06/06	137	—	■
6	グローバル・ソブリン・オープン（１年決算型）	2002/03/05	34	—	■
7	グローバル・ソブリン・オープン（３ヵ月決算型）	1997/12/18	159	—	■
8	グローバル・ソブリン・オープン（ＤＣ年金）	2002/09/30	34	—	■
9	グローバル・ソブリン・オープン（資産成長型）〈愛称:グロソブN〉	2013/11/15	21	—	■
10	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	1997/12/18	2,457	—	■
11	ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド＜為替ヘッジなし＞（年２回決算型）	2017/10/02	634	—	■
12	ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）	2017/10/02	432	—	■
13	三菱ＵＦＪ グローバル・ボンド・オープン（年1回決算型）〈愛称:花こよみ年１〉	2013/12/16	179	—	■
14	三菱ＵＦＪ グローバル・ボンド・オープン（毎月決算型）〈愛称:花こよみ〉	2003/07/09	775	—	■
15	三菱ＵＦＪ 先進国高金利債券ファンド（年１回決算型）〈愛称:グローバル・トップ年１〉	2017/01/23	5	—	■
16	三菱ＵＦＪ 先進国高金利債券ファンド（毎月決算型）〈愛称:グローバル・トップ〉	2010/02/18	342	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
※外国債券・世界型カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

データ基準日：2026年6月末

02 外国債券・世界型（円ヘッジ）

対象ファンド数	当社10ファンド／業界全体99ファンド

カテゴリの運用状況について

●当カテゴリに属する当社ファンド10本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
（個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください）

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン（%）				コスト（%）
過去1年	過去3年（年率）	過去5年（年率）	過去10年（年率）	
0.4	▲0.0	▲3.1	▲1.2	1.10

出所：Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成
※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。
※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く）より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義
特定の通貨等に偏ることなく、世界の投資適格債券を主な投資対象とする。原則として日本円以外の通貨は為替ヘッジを行う。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

No.	ファンド名（アルファベット順および五十音順）	設定日	純資産総額（億円）	要改善ファンド	当社HP
1	eMAXIS 債券バランス（2資産均等型）	2015/08/27	2	—	■

◇アクティブファンド（インデックスファンド以外のファンド）

No.	ファンド名（アルファベット順および五十音順）	設定日	純資産総額（億円）	要改善ファンド	当社HP
1	PIMCO インカム戦略ファンド＜円インカム＞（年2回分配型）	2014/05/21	12	—	■
2	PIMCO インカム戦略ファンド＜円インカム＞（毎月分配型）	2014/05/21	32	—	■
3	グローバル・インカム・フルコース（為替リスク軽減型）	2019/03/04	4	—	■
4	国際機関債オープン（為替ヘッジあり）	2010/11/15	27	—	■
5	国内債券セレクション（ラップ向け）	2017/03/13	932	—	■
6	世界プレミア企業債券ファンド（為替ヘッジあり）〈愛称：プレミア・コレクション〉	2016/01/29	84	—	■
7	ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド＜限定為替ヘッジあり＞（年2回決算型）	2017/10/02	48	—	■
8	ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド＜限定為替ヘッジあり＞（毎月決算型）	2017/10/02	25	—	■
9	ラップ向け先進国高格付国債ファンドⅡ	2022/01/27	1	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
※外国債券・世界型（円ヘッジ）カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

データ基準日：2026年6月末

03 外国債券・世界型（除く日本）

対象ファンド数	当社21ファンド／業界全体156ファンド

カテゴリの運用状況について

●当カテゴリに属する当社ファンド21本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
（個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください）

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン（%）				コスト（%）
過去1年	過去3年（年率）	過去5年（年率）	過去10年（年率）	
14.2	7.7	6.0	4.6	0.80

出所：Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成
※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。
※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く）より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義
特定の通貨等に偏ることなく、日本を除く世界の投資適格債券を主な投資対象とする。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

No.	ファンド名（アルファベット順および五十音順）	設定日	純資産総額（億円）	要改善ファンド	当社HP
1	eMAXIS Slim 先進国債券インデックス（除く日本）	2017/02/27	2,417	—	■
2	eMAXIS 先進国債券インデックス（除く日本）	2009/10/28	231	—	■
3	三菱UFJ DC海外債券インデックスファンド	2006/05/15	465	—	■
4	三菱UFJ <DC>外国債券インデックスファンド	2001/12/18	53	—	■
5	三菱UFJ DC年金インデックス（先進国債券）	2018/09/26	157	—	■
6	三菱UFJ 外国債券オープン	2000/08/18	21	—	■
7	三菱UFJ 外国債券オープン（確定拠出年金）	2002/02/08	105	—	■
8	三菱UFJ 外国債券オープン（毎月分配型）	2002/08/29	418	—	■
9	三菱UFJ 世界国債インデックスファンド（年1回決算型）	2008/03/31	83	—	■
10	三菱UFJ 世界国債インデックスファンド（毎月分配型）	2007/04/19	10	—	■
11	ラップ向けインデックスf 先進国債券	2021/04/16	121	—	■
12	ワールド・インカムオープン	2003/04/24	25	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
※外国債券・世界型（除く日本）カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

データ基準日：2026年6月末

◇アクティブファンド（インデックスファンド以外のファンド）

No.	ファンド名（アルファベット順および五十音順）	設定日	純資産総額（億円）	要改善ファンド	当社HP
1	海外債券セレクション（ラップ向け）	2017/03/27	241	—	■
2	バリュー・ボンド・ファンド＜為替ヘッジなし＞（年１回決算型）〈愛称:みらいの港〉	2013/07/31	37	—	■
3	バリュー・ボンド・ファンド＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）〈愛称:みらいの港〉	2013/07/31	39	—	■
4	三菱ＵＦＪ ＜ＤＣ＞海外債券オープン	2001/10/18	37	—	■
5	三菱ＵＦＪ 海外債券オープン	2000/08/11	219	—	■
6	三菱ＵＦＪ 海外債券オープン（３ヵ月決算型）〈愛称:四季の恵み（海外債券）〉	2002/02/05	154	—	■
7	三菱ＵＦＪ／マッコーリー グローバル・インフラ債券ファンド＜為替ヘッジなし＞（隔月決算型）〈愛称:世界のいしずえ〉	2023/11/30	1	—	■
8	三菱ＵＦＪ／マッコーリー グローバル・インフラ債券ファンド＜為替ヘッジなし＞（年１回決算型）〈愛称:世界のいしずえ〉	2018/01/22	224	—	■
9	三菱ＵＦＪ／マッコーリー グローバル・インフラ債券ファンド＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）〈愛称:世界のいしずえ〉	2012/06/01	1,879	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。
各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
※外国債券・世界型（除く日本）カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

データ基準日：2026年6月末

04 外国債券・世界型（除く日本、円ヘッジ）

対象ファンド数	当社6ファンド／業界全体84ファンド

カテゴリの運用状況について

●当カテゴリに属する当社ファンド6本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
（個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください）

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン（%）				コスト（%）
過去1年	過去3年（年率）	過去5年（年率）	過去10年（年率）	
0.6	▲0.3	▲3.8	▲1.4	0.82

出所：Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成
※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。
※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く）より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義
特定の通貨等に偏ることなく、日本を除く世界の投資適格債券を主な投資対象とする。原則として日本円以外の通貨は為替ヘッジを行う。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

No.	ファンド名（アルファベット順および五十音順）	設定日	純資産総額（億円）	要改善ファンド	当社HP
1	eMAXIS 先進国債券インデックス（除く日本・為替ヘッジあり）	2016/07/01	16	—	■
2	ラップ向けインデックスf 先進国債券（為替ヘッジあり）	2022/01/06	91	—	■

◇アクティブファンド（インデックスファンド以外のファンド）

No.	ファンド名（アルファベット順および五十音順）	設定日	純資産総額（億円）	要改善ファンド	当社HP
1	バリュー・ボンド・ファンド＜為替リスク軽減型＞（年1回決算型）〈愛称：みらいの港〉	2013/07/31	3	—	■
2	バリュー・ボンド・ファンド＜為替リスク軽減型＞（毎月決算型）〈愛称：みらいの港〉	2013/07/31	4	—	■
3	三菱UFJ／マッコーリー グローバル・インフラ債券ファンド＜為替ヘッジあり＞（年1回決算型）〈愛称：世界のいしずえ〉	2018/01/22	14	—	■
4	三菱UFJ／マッコーリー グローバル・インフラ債券ファンド＜為替ヘッジあり＞（毎月決算型）〈愛称：世界のいしずえ〉	2012/06/01	79	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
※外国債券・世界型（除く日本、円ヘッジ）カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

データ基準日：2026年6月末

05 外国債券・米国型

対象ファンド数	当社6ファンド／業界全体78ファンド

カテゴリの運用状況について

●当カテゴリに属する当社ファンド6本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
（個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください）

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン（%）				コスト（%）
過去1年	過去3年（年率）	過去5年（年率）	過去10年（年率）	
16.4	7.7	7.4	5.7	0.81

出所：Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成
※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。
※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く）より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義
米国ドル建ての米国投資適格債券を主な投資対象とする。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

No.	ファンド名（アルファベット順および五十音順）	設定日	純資産総額（億円）	要改善ファンド	当社HP
1	ＭＡＸＩＳ米国国債１-３年上場投信（為替ヘッジなし）	2024/04/24	57	—	■
2	ＭＡＸＩＳ米国国債２０年超上場投信（為替ヘッジなし）	2024/04/24	3	—	■
3	ＭＡＸＩＳ米国国債７-１０年上場投信（為替ヘッジなし）	2021/12/09	98	—	■
4	三菱ＵＦＪ 米国債券オープン（毎月分配型）	2003/03/06	50	—	■

◇アクティブファンド（インデックスファンド以外のファンド）

No.	ファンド名（アルファベット順および五十音順）	設定日	純資産総額（億円）	要改善ファンド	当社HP
1	三菱ＵＦＪ／ピムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし>（年１回決算型）	2013/10/25	25	—	■
2	三菱ＵＦＪ／ピムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし>（毎月決算型）	2013/10/25	40	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
※外国債券・米国型カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

データ基準日：2026年6月末

06 外国債券・米国型（円ヘッジ）

対象ファンド数	当社4ファンド／業界全体51ファンド

カテゴリの運用状況について

●当カテゴリに属する当社ファンド4本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
（個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください）

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン（%）				コスト（%）
過去1年	過去3年（年率）	過去5年（年率）	過去10年（年率）	
0.6	▲0.8	▲4.3	▲1.7	0.84

出所：Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成
※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。
※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く）より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義
米国ドル建ての米国投資適格債券を主な投資対象とする。原則として通貨は為替ヘッジを行う。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

No.	ファンド名（アルファベット順および五十音順）	設定日	純資産総額（億円）	要改善ファンド	当社HP
1	ＭＡＸＩＳ米国国債２０年超上場投信（為替ヘッジあり）	2024/04/24	55	—	■
2	ＭＡＸＩＳ米国国債7-１０年上場投信（為替ヘッジあり）	2021/12/09	65	—	■

◇アクティブファンド（インデックスファンド以外のファンド）

No.	ファンド名（アルファベット順および五十音順）	設定日	純資産総額（億円）	要改善ファンド	当社HP
1	三菱ＵＦＪ／ピムコ トータル・リターン・ファンド＜米ドルヘッジ型＞（年１回決算型）	2013/10/25	4	—	■
2	三菱ＵＦＪ／ピムコ トータル・リターン・ファンド＜米ドルヘッジ型＞（毎月決算型）	2013/10/25	6	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
※外国債券・米国型（円ヘッジ）カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

データ基準日：2026年6月末

07 外国債券・欧州型

対象ファンド数	当社2ファンド／業界全体13ファンド

カテゴリの運用状況について

●当カテゴリに属する当社ファンド2本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
（個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください）

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン（%）				コスト（%）
過去1年	過去3年（年率）	過去5年（年率）	過去10年（年率）	
9.9	7.6	4.4	3.8	1.13

出所：Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成
※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。
※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く）より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義
欧州通貨建ての投資適格債券を主な投資対象とする。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

No.	ファンド名（アルファベット順および五十音順）	設定日	純資産総額（億円）	要改善ファンド	当社HP
1	三菱ＵＦＪ ユーロ債券オープン（毎月分配型）	2003/01/09	19	—	■

◇アクティブファンド（インデックスファンド以外のファンド）

No.	ファンド名（アルファベット順および五十音順）	設定日	純資産総額（億円）	要改善ファンド	当社HP
1	ユーロランド・ソブリン・インカム	1998/08/28	43	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
※外国債券・欧州型カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

データ基準日：2026年6月末

08 外国債券・オセアニア型

対象ファンド数	当社7ファンド／業界全体40ファンド

カテゴリの運用状況について

●当カテゴリに属する当社ファンド7本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
（個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください）

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン（%）				コスト（%）
過去1年	過去3年（年率）	過去5年（年率）	過去10年（年率）	
17.4	8.0	5.6	4.6	1.27

出所：Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成
※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。
※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く）より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義
オーストラリア、ニュージーランドの投資適格債券を主な投資対象とする。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

No.	ファンド名（アルファベット順および五十音順）	設定日	純資産総額（億円）	要改善ファンド	当社HP
1	eMAXIS 豪州債券インデックス	2016/07/01	5	—	■

◇アクティブファンド（インデックスファンド以外のファンド）

No.	ファンド名（アルファベット順および五十音順）	設定日	純資産総額（億円）	要改善ファンド	当社HP
1	オーストラリアインカムオープン	2003/09/26	52	—	■
2	豪ドル年1回決算型ファンド	2017/08/30	39	—	■
3	豪ドル毎月分配型ファンド	2003/05/30	311	—	■
4	三菱UFJ オーストラリアボンドファンド（毎月分配型）〈愛称: 夢満債（豪ドルコース）〉	2003/10/31	24	—	■
5	三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン〈愛称: 夢実月〉	2003/03/14	337	—	■
6	三菱UFJ 豪ドル債券インカムオープン（年1回決算型）〈愛称: 夢実月〉	2013/12/06	15	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
※外国債券・オセアニア型カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

データ基準日：2026年6月末

09 外国債券・単一国/地域

対象ファンド数	当社6ファンド／業界全体63ファンド

カテゴリの運用状況について

●当カテゴリに属する当社ファンド6本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
（個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください）

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン（%）				コスト（%）
過去1年	過去3年（年率）	過去5年（年率）	過去10年（年率）	
13.2	6.7	6.8	5.2	1.42

出所：Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成
※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。
※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く）より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義
他のモーニングスター・カテゴリには分類されない特定の国や地域の債券を主な投資対象とする。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド
当カテゴリに属する当社ファンドは該当なし

◇アクティブファンド（インデックスファンド以外のファンド）

No.	ファンド名（アルファベット順および五十音順）	設定日	純資産総額（億円）	要改善ファンド	当社HP
1	インド債券オープン（年１回決算型）	2017/07/03	37	—	■
2	インド債券オープン（毎月決算型）	2011/08/19	118	—	■
3	国際インド債券オープン（毎月決算型）	2011/12/16	47	—	■
4	ブラデスコ ブラジル債券ファンド（成長重視型）	2008/11/07	6	—	■
5	ブラデスコ ブラジル債券ファンド（分配重視型）	2008/11/07	31	—	■
6	三菱ＵＦＪ インド債券オープン（毎月決算型）〈愛称:インドの宝〉	2012/06/18	27	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
※外国債券・単一国/地域カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

データ基準日：2026年6月末

10 外国債券・ハイイールド型・グローバル

対象ファンド数	当社2ファンド／業界全体15ファンド

カテゴリの運用状況について

●当カテゴリに属する当社ファンド2本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
（個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください）

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン（%）				コスト（%）
過去1年	過去3年（年率）	過去5年（年率）	過去10年（年率）	
15.3	9.6	9.6	8.2	1.54

出所：Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成
※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。
※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く）より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

世界の価格変動リスクが高い、投資適格未満の債券を主な投資対象とする。このカテゴリに分類されるファンドは、一般的に、他の債券型に比べて利回りは高いものの、景気や信用リスクの変動による価格変動リスクが大きい。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

当カテゴリに属する当社ファンドは該当なし

◇アクティブファンド（インデックスファンド以外のファンド）

No.	ファンド名（アルファベット順および五十音順）	設定日	純資産総額（億円）	要改善ファンド	当社HP
1	ピムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド（毎月分配型）	2004/09/30	287	—	■
2	ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド	2003/08/08	650	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
※外国債券・ハイイールド型・グローバルカテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

データ基準日：2026年6月末

11 外国債券・ハイイールド型・グローバル（円ヘッジ）

対象ファンド数	当社1ファンド／業界全体7ファンド

カテゴリの運用状況について

●当カテゴリに属する当社ファンド1本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
（個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください）

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン（%）				コスト（%）
過去1年	過去3年（年率）	過去5年（年率）	過去10年（年率）	
2.2	2.4	▲1.6	0.9	1.43

出所：Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成
※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。
※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く）より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義
世界の価格変動リスクが高い、投資適格未満の債券を主な投資対象とする。原則として日本円以外の通貨は為替ヘッジを行う。このカテゴリに分類されるファンドは、一般的に、他の債券型に比べて利回りは高いものの、景気や信用リスクの変動による価格変動リスクが大きい。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド
当カテゴリに属する当社ファンドは該当なし

◇アクティブファンド（インデックスファンド以外のファンド）

No.	ファンド名（アルファベット順および五十音順）	設定日	純資産総額（億円）	要改善ファンド	当社HP
1	ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド（為替ヘッジ付き）	2004/01/16	9	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
※外国債券・ハイイールド型・グローバル（円ヘッジ）カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

データ基準日：2026年6月末

12 外国債券・ハイイールド型・欧州

対象ファンド数	当社1ファンド／業界全体11ファンド

カテゴリの運用状況について

●当カテゴリに属する当社ファンド1本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
（個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください）

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン（%）				コスト（%）
過去1年	過去3年（年率）	過去5年（年率）	過去10年（年率）	
12.4	11.8	9.4	8.1	1.83

出所：Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成
※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。
※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く）より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

欧州の価格変動リスクが高い、投資適格未満の債券を主な投資対象とする。このカテゴリに分類されるファンドは、一般的に、他の債券型に比べて利回りは高いものの、景気や信用リスクの変動による価格変動リスクが大きい。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

当カテゴリに属する当社ファンドは該当なし

◇アクティブファンド（インデックスファンド以外のファンド）

No.	ファンド名（アルファベット順および五十音順）	設定日	純資産総額（億円）	要改善ファンド	当社HP
1	欧州ハイイールド債券ファンド（為替ヘッジなし）〈愛称：ユーロ・スピリッツ〉	2012/06/15	35	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
※外国債券・ハイイールド型・欧州カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

データ基準日:2026年6月末

13 外国債券・ハイイールド型・欧州(円ヘッジ)

対象ファンド数	当社1ファンド／業界全体11ファンド

カテゴリの運用状況について

●当カテゴリに属する当社ファンド1本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
(個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください)

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン(%)				コスト(%)
過去1年	過去3年(年率)	過去5年(年率)	過去10年(年率)	
1.5	3.0	0.3	2.2	1.84

出所:Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成
※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。
※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く)より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義
欧州の価格変動リスクが高い、投資適格未満の債券を主な投資対象とする。原則として日本円以外の通貨は為替ヘッジを行う。このカテゴリに分類されるファンドは、一般的に、他の債券型に比べて利回りは高いものの、景気や信用リスクの変動による価格変動リスクが大きい。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド
当カテゴリに属する当社ファンドは該当なし

◇アクティブファンド(インデックスファンド以外のファンド)

No.	ファンド名(アルファベット順および五十音順)	設定日	純資産総額(億円)	要改善ファンド	当社HP
1	欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)〈愛称:ユーロ・スピリッツ〉	2012/06/15	16	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
※外国債券・ハイイールド型・欧州(円ヘッジ)カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

データ基準日：2026年6月末

14 外国債券・バンクローン型

対象ファンド数	当社5ファンド／業界全体10ファンド

カテゴリの運用状況について

●当カテゴリに属する当社ファンド5本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
（個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください）

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン（%）				コスト（%）
過去1年	過去3年（年率）	過去5年（年率）	過去10年（年率）	
14.5	9.4	12.0	8.0	1.88

出所：Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成
※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。
※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く）より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

世界の優先担保付きローンを主な投資対象とする。優先担保付きローンは、相対的に信用力が低い投資適格未満の企業に対する貸付債権であるため、一般的な短期債券などに比べて相対的に高い利回りが期待できる。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

当カテゴリに属する当社ファンドは該当なし

◇アクティブファンド（インデックスファンド以外のファンド）

No.	ファンド名（アルファベット順および五十音順）	設定日	純資産総額（億円）	要改善ファンド	当社HP
1	米国バンクローン・オープン＜為替ヘッジなし＞（年１回決算型）	2014/05/27	31	—	■
2	米国バンクローン・オープン＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）	2014/05/27	97	—	■
3	米国バンクローンファンド＜為替ヘッジなし＞（資産成長型）〈愛称：ＵＳストリーム〉	2017/05/08	2	—	■
4	米国バンクローンファンド＜為替ヘッジなし＞（毎月分配型）〈愛称：ＵＳストリーム〉	2013/12/09	37	—	■
5	三菱ＵＦＪ米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ＜米ドルコース＞（毎月分配型）〈愛称：スマートスター〉	2013/10/15	45	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
※外国債券・バンクローン型カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

データ基準日：2026年6月末

15 外国債券・バンクローン型（円ヘッジ）

対象ファンド数	当社5ファンド／業界全体9ファンド

カテゴリの運用状況について

●当カテゴリに属する当社ファンド5本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
（個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください）

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン（%）				コスト（%）
過去1年	過去3年（年率）	過去5年（年率）	過去10年（年率）	
▲0.9	0.8	0.0	0.4	1.95

出所：Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成
※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。
※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く）より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義
世界の優先担保付きローンを主な投資対象とする。原則として日本円以外の通貨は為替ヘッジを行う。優先担保付きローンは、相対的に信用力が低い投資適格未満の企業に対する貸付債権であるため、一般的な短期債券などに比べて相対的に高い利回りが期待できる。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド
当カテゴリに属する当社ファンドは該当なし

◇アクティブファンド（インデックスファンド以外のファンド）

No.	ファンド名（アルファベット順および五十音順）	設定日	純資産総額（億円）	要改善ファンド	当社HP
1	米国バンクローン・オープン＜為替ヘッジあり＞（年１回決算型）	2014/05/27	11	—	■
2	米国バンクローン・オープン＜為替ヘッジあり＞（毎月決算型）	2014/05/27	15	—	■
3	米国バンクローンファンド＜為替ヘッジあり＞（資産成長型）〈愛称：ＵＳストリーム〉	2017/05/08	1	—	■
4	米国バンクローンファンド＜為替ヘッジあり＞（毎月分配型）〈愛称：ＵＳストリーム〉	2013/12/09	6	—	■
5	三菱ＵＦＪ米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ＜円コース＞（毎月分配型）〈愛称：スマートスター〉	2013/10/15	10	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
※外国債券・バンクローン型（円ヘッジ）カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

データ基準日：2026年6月末

16 外国債券・新興国型・グローバル

対象ファンド数	当社7ファンド／業界全体30ファンド

カテゴリの運用状況について

●当カテゴリに属する当社ファンド7本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
（個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください）

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン（%）				コスト（%）
過去1年	過去3年（年率）	過去5年（年率）	過去10年（年率）	
23.5	13.3	9.7	7.5	1.32

出所：Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成
※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。
※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く）より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

単一国または特定地域に特化せず、幅広い新興国の債券を主な投資対象とする。このカテゴリに分類されるファンドは一般的に米ドル等の国際決済通貨建て債券に投資するが、現地通貨建ての債券に投資することもある。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

当カテゴリに属する当社ファンドは該当なし

◇アクティブファンド（インデックスファンド以外のファンド）

No.	ファンド名（アルファベット順および五十音順）	設定日	純資産総額（億円）	要改善ファンド	当社HP
1	ＰＩＭＣＯ ニューワールド米ドルインカムファンド（毎月分配型）	2011/02/16	9	—	■
2	エマージング・ソブリン・オープン（１年決算型）	2003/08/08	219	—	■
3	エマージング・ソブリン・オープン（資産成長型）〈愛称:エマソブN〉	2013/11/06	38	—	■
4	エマージング・ソブリン・オープン（毎月決算型）	2003/08/08	222	—	■
5	グローバル・エマージング・ボンド・オープン〈愛称:受取物語〉	1998/07/31	147	—	■
6	ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Ａコース（為替ヘッジなし）	2005/03/04	72	—	■
7	三菱ＵＦＪ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ＜米ドルコース＞（毎月分配型）	2009/04/28	40	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
※外国債券・新興国型・グローバルカテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

データ基準日：2026年6月末

17 外国債券・新興国型・グローバル（現地通貨建て）

対象ファンド数	当社7ファンド／業界全体48ファンド

カテゴリの運用状況について

●当カテゴリに属する当社ファンド7本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
（個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください）

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン（%）				コスト（%）
過去1年	過去3年（年率）	過去5年（年率）	過去10年（年率）	
20.3	10.1	9.4	6.3	1.28

出所：Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成
※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。
※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く）より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義
単一国または特定地域に特化せず、幅広い新興国の現地通貨建て債券を主な投資対象とする。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

No.	ファンド名（アルファベット順および五十音順）	設定日	純資産総額（億円）	要改善ファンド	当社HP
1	eMAXIS 新興国債券インデックス	2010/09/13	99	—	■
2	三菱UFJ DC新興国債券インデックスファンド	2010/10/29	334	—	■
3	ラップ向けインデックスf 新興国債券	2021/04/16	76	—	■

◇アクティブファンド（インデックスファンド以外のファンド）

No.	ファンド名（アルファベット順および五十音順）	設定日	純資産総額（億円）	要改善ファンド	当社HP
1	モルガン・スタンレー 新興国債券オポチュニティ・ファンド<3ヵ月決算型>（為替ヘッジなし）予想分配金提示型	2026/02/18	32	—	■
2	モルガン・スタンレー 新興国債券オポチュニティ・ファンド<3ヵ月決算型>（為替リスク軽減型）予想分配金提示型	2026/02/18	1	—	■
3	モルガン・スタンレー 新興国債券オポチュニティ・ファンド<年1回決算型>（為替ヘッジなし）	2026/02/18	52	—	■
4	モルガン・スタンレー 新興国債券オポチュニティ・ファンド<年1回決算型>（為替リスク軽減型）	2026/02/18	5	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
※外国債券・新興国型・グローバル（現地通貨建て）カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

データ基準日：2026年6月末

18 外国債券・新興国型・グローバル（円ヘッジ）

対象ファンド数	当社6ファンド／業界全体21ファンド

カテゴリの運用状況について

●当カテゴリに属する当社ファンド6本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
（個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください）

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン（%）				コスト（%）
過去1年	過去3年（年率）	過去5年（年率）	過去10年（年率）	
5.2	3.3	▲2.7	▲0.4	1.57

出所：Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成
※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。
※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く）より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

単一国または特定地域に特化せず、幅広い新興国の債券を主な投資対象とする。このカテゴリに分類されるファンドは一般的に米ドル等の国際決済通貨建て債券に投資するが、現地通貨建ての債券に投資することもある。原則として日本円以外の通貨は為替ヘッジを行う。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

No.	ファンド名（アルファベット順および五十音順）	設定日	純資産総額（億円）	要改善ファンド	当社HP
1	eMAXIS 新興国債券インデックス（為替ヘッジあり）	2016/07/01	18	—	■

◇アクティブファンド（インデックスファンド以外のファンド）

No.	ファンド名（アルファベット順および五十音順）	設定日	純資産総額（億円）	要改善ファンド	当社HP
1	PIMCO ニューワールド円インカムファンド（毎月分配型）	2011/02/16	37	—	■
2	エマージング・ソブリン・オープン（資産成長型）為替ヘッジあり〈愛称：エマヘッジN〉	2013/11/06	75	—	■
3	エマージング・ソブリン・オープン（毎月決算型）為替ヘッジあり	2009/03/18	69	—	■
4	ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース（為替ヘッジあり）	2005/03/04	37	—	■
5	三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ＜円コース＞（毎月分配型）	2009/04/28	16	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
※外国債券・新興国型・グローバル（円ヘッジ）カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

データ基準日：2026年6月末

19 外国債券・新興国型・アジア

対象ファンド数	当社3ファンド／業界全体10ファンド

カテゴリの運用状況について

●当カテゴリに属する当社ファンド3本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
（個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください）

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン（%）				コスト（%）
過去1年	過去3年（年率）	過去5年（年率）	過去10年（年率）	
14.7	8.5	7.1	5.9	1.90

出所：Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成
※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。
※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く）より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

アジアの新興国の債券を主な投資対象とする。このカテゴリに分類されるファンドは一般的に米ドル等の国際決済通貨建て債券に投資するが、現地通貨建ての債券に投資することもある。単一国または特定の地域（サブリージョン）のみへ投資するファンドは、外国債券・単一国/地域に分類される。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

当カテゴリに属する当社ファンドは該当なし

◇アクティブファンド（インデックスファンド以外のファンド）

No.	ファンド名（アルファベット順および五十音順）	設定日	純資産総額（億円）	要改善ファンド	当社HP
1	アジア・ソブリン・オープン（毎月決算型）	2009/09/28	14	—	■
2	アジア・パシフィック・ソブリン・オープン（年２回決算型）	2009/01/16	4	—	■
3	アジア・パシフィック・ソブリン・オープン（毎月決算型）	2009/01/16	54	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
※外国債券・新興国型・アジアカテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

データ基準日：2026年6月末

20 外国債券・短期型

対象ファンド数	当社5ファンド／業界全体11ファンド

カテゴリの運用状況について

●当カテゴリに属する当社ファンド5本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
（個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください）

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン（%）				コスト（%）
過去1年	過去3年（年率）	過去5年（年率）	過去10年（年率）	
13.7	6.5	6.7	5.0	0.90

出所：Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成
※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。
※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く）より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義

世界の政府債券、コマーシャルペーパーなどの短期債券を主な投資対象とする。このカテゴリに分類されるファンドは、他のタイプの債券ファンドに比べて金利変動リスクは低いものの、為替変動リスクは伴うことがある。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド

当カテゴリに属する当社ファンドは該当なし

◇アクティブファンド（インデックスファンド以外のファンド）

No.	ファンド名（アルファベット順および五十音順）	設定日	純資産総額（億円）	要改善ファンド	当社HP
1	世界好利回り短期債券ファンド（毎月決算型）〈愛称:キュート〉	2006/12/20	22	—	■
2	ピムコ ショートターム・インカム・ファンド（為替ヘッジなし）	2017/06/14	14	—	■
3	ピムコ ショートターム・インカム・ファンド（為替リスク軽減型）	2017/06/14	83	—	■
4	ピムコ 短期戦略プラス・オープン（為替リスク軽減型）	2017/07/31	0.2	—	■
5	ワールド短期ソブリンオープン	2004/08/23	42	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
※外国債券・短期型カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

データ基準日：2026年6月末

21 外国債券・転換社債型

対象ファンド数	当社1ファンド／業界全体16ファンド

カテゴリの運用状況について

●当カテゴリに属する当社ファンド1本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
（個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください）

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン（%）				コスト（%）
過去1年	過去3年（年率）	過去5年（年率）	過去10年（年率）	
18.8	10.1	5.4	7.1	1.40

出所：Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成
※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。
※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く）より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義
世界の転換社債型新株予約権付社債を主な投資対象とする。世界の転換社債市場の傾向から、このカテゴリに分類されるファンドは、米ドルのエクスポージャーを多めに持つ傾向がある。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド
当カテゴリに属する当社ファンドは該当なし

◇アクティブファンド（インデックスファンド以外のファンド）

No.	ファンド名（アルファベット順および五十音順）	設定日	純資産総額（億円）	要改善ファンド	当社HP
1	先進国好利回りＣＢファンド2023-03（為替ヘッジなし）（限定追加型）	2023/03/10	89	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
※外国債券・転換社債型カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

データ基準日：2026年6月末

22 外国債券・転換社債型（円ヘッジ）

対象ファンド数	当社1ファンド／業界全体17ファンド

カテゴリの運用状況について

●当カテゴリに属する当社ファンド1本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
（個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください）

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン（%）				コスト（%）
過去1年	過去3年（年率）	過去5年（年率）	過去10年（年率）	
6.0	3.5	▲0.5	3.3	1.37

出所：Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成
※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。
※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く）より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義
世界の転換社債型新株予約権付社債を主な投資対象とする。世界の転換社債市場の傾向から、このカテゴリに分類されるファンドは、米ドルのエクスポージャーを多めに持つ傾向があるが、原則として日本円以外の通貨は為替ヘッジを行う。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド
当カテゴリに属する当社ファンドは該当なし

◇アクティブファンド（インデックスファンド以外のファンド）

No.	ファンド名（アルファベット順および五十音順）	設定日	純資産総額（億円）	要改善ファンド	当社HP
1	先進国好利回りＣＢファンド2023-03（為替ヘッジあり）（限定追加型）	2023/03/10	119	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
※外国債券・転換社債型（円ヘッジ）カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

データ基準日：2026年6月末

23 債券・その他

対象ファンド数	当社10ファンド／業界全体141ファンド

カテゴリの運用状況について

●当カテゴリに属する当社ファンド10本については、要改善ファンドに該当するとの判断には至りませんでした。
●なお、当該ファンドにつきましても、引き続きお客さま本位の姿勢に徹し、確固たる運用哲学とプロダクトガバナンス・ポリシーに基づき、クオリティの高い運用・商品・サービスを安定的かつ継続的に提供出来るよう努めてまいります。
（個別ファンドの運用状況については当社ホームページ内の各ファンドページをご覧ください）

カテゴリの平均リターンと平均コスト

リターン（%）				コスト（%）
過去1年	過去3年（年率）	過去5年（年率）	過去10年（年率）	
20.4	11.4	7.2	6.1	1.78

出所：Morningstar Directのデータを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成
※業界全体の公募投資信託およびETFの中で、当該カテゴリに属するファンドより単純平均値を算出しております。
※コストは、直近の決算時の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税除く）より算出した総経費率を使用しております。ただし、初回決算を迎えていない等の理由から総経費率のデータがないファンドは、信託報酬率を使用しております。

カテゴリの定義
世界の債券を主な投資対象とするものの、他の債券型のモーニングスター・カテゴリに該当しないファンドが分類される。例として、為替オーバーレイやカバードコールなど様々な投資戦略を同時に活用しているファンドなどが含まれる。

当社ファンド一覧

◇インデックスファンド
当カテゴリに属する当社ファンドは該当なし

◇アクティブファンド（インデックスファンド以外のファンド）

No.	ファンド名（アルファベット順および五十音順）	設定日	純資産総額（億円）	要改善ファンド	当社HP
1	ＰＩＭＣＯ インカム戦略ファンド＜世界通貨分散コース＞（年２回分配型）	2014/06/24	14	—	■
2	ＰＩＭＣＯ インカム戦略ファンド＜世界通貨分散コース＞（毎月分配型）	2014/06/24	95	—	■
3	ＰＩＭＣＯ ニューワールドインカムファンド＜豪ドルコース＞（毎月分配型）	2011/03/31	39	—	■
4	ＰＩＭＣＯ ニューワールドインカムファンド＜世界通貨分散コース＞（毎月分配型）	2013/07/01	18	—	■
5	ＰＩＭＣＯ ニューワールドインカムファンド＜メキシコペソコース＞（毎月分配型）	2013/01/16	42	—	■
6	三菱ＵＦＪ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム（毎月分配型）〈愛称：ユーロスター・プレミアム〉	2012/06/15	37	—	■
7	三菱ＵＦＪ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ＜豪ドルコース＞（毎月分配型）	2009/04/28	73	—	■
8	三菱ＵＦＪ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ＜ブラジルレアルコース＞（毎月分配型）	2009/04/28	222	—	■
9	三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ＜豪ドルコース＞（毎月分配型）〈愛称：スマートスター〉	2013/10/15	11	—	■
10	三菱ＵＦＪ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム（毎月分配型）〈愛称：スマートスター・プレミアム〉	2014/07/31	17	—	■

※当社ホームページの個別ファンドページ内に、各ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）および、リスクと費用に関する記載箇所へのリンクがございます。各ファンドの商品性、投資リスク、費用等についてはそちらをご確認ください。
※上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
※債券・その他カテゴリに関する著作権、知的財産権等一切の権利はMorningstarに帰属し、複製、転載、引用することを禁じます。

当資料に関するご留意事項等

当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、三菱UFJアセットマネジメントのプロダクトガバナンス活動に関して当社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- 当資料は勧誘を目的とするものではありません。
- 投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。販売会社は当社ホームページでご確認いただけます。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。
- クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご留意ください。

モーニングスター・カテゴリについて

©2026 Morningstar.　All Rights Reserved.　ここに含まれる情報は、(1) Morningstarおよび/またはその関連会社またはコンテンツ提供者の専有財産であり、(2) 複製、改作または配布してはならず、(3) 正確性、完全性または適時性を保証するものではなく、(4) 投資、税務、法務あるいはその他を問わず、いかなる助言を構成するものではありません。ユーザーは、この情報の使用が、適用されるすべての法律、規制、および制限に準拠していることを確認する責任を単独で負います。Morningstarおよびそのコンテンツ提供者のいずれも、この情報の使用から生ずるいかなる損害または損失についても責任を負いません。過去の実績は将来の結果を保証するものではありません。

設定・運用

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号
加入協会／一般社団法人資産運用業協会

三菱UFJアセットマネジメントのお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル **0120-151034**
（受付時間／営業日の9:00～17:00）

ホームページアドレス **https://www.am.mufg.jp/**